

# 九 経 連

---

2023



一般社団法人 九州経済連合会

# ご挨拶



九経連は1961(昭和36)年、石炭から石油へのエネルギー転換や急速な経済成長によって、多くの地域課題が山積する中で、個別企業の力ではどうにもならないという強い危機感から、経団連、関西、中部に次いで全国で4番目の総合経済団体として設立されました。

その後、新しい地域の創造に向けて、自動車や半導体関連産業の集積強化、九州自動車道や九州新幹線の開通、九州一体となって観光を振興する「九州観光機構」の設立などに取り組んできました。

2021年6月に九経連会長を拝命して以来、「九州を明るく、元気にしたい」という想いをもって、「九州将来ビジョン2030」の実現に向けて一歩ずつ取り組みを進めてまいりました。

2023年度は、九経連が先頭に立ち、地域を駆け巡りながら、「コロナ禍前以上の元気な九州を取り戻す年にしたい」と考えています。

コロナ禍を乗り越えた今、九州に強力なフォローの風が吹いています。

観光や飲食、交通事業者に明るさが戻り、台湾TSMCの熊本進出をきっかけに九州各地で半導体関連投資が広がりました。G7広島サミットの成功や日韓関係の改善によって、グローバル・サプライチェーンの再構築やインバウンド需要の持ち直しが期待されています。

こうした中、本会では、国際サイクルロードレースの記念すべき第1回大会「マイナビ ツール・ド・九州2023」の開催(10月)、持続可能な地域公共交通や観光振興にとって極めて重要な「九州MaaS」の推進、今年度新たに設置した地域共創委員会による地域活性化、アジアをはじめとする各国・地域との活発な経済交流の復活を通じ、「九州将来ビジョン」の実現につなげていきます。

幸い、九州には「九州はひとつ」の理念が脈々と受け継がれ、いろいろな意味で“まとまりの良さ”という強みがあります。会員の力、地域の産学官の力を結集し、九経連・九州ワンチームとなって「こういうモデルが九州にある！」というものを一つでも多く、全国に示していきたいと思います。

皆様には今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人 九州経済連合会

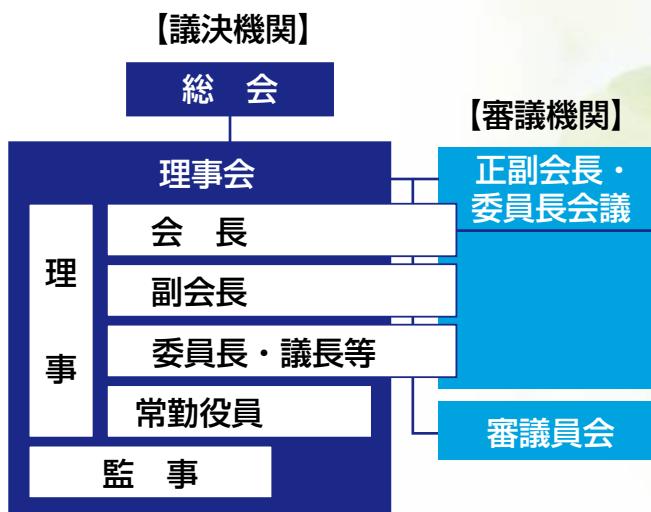
会長 倉富 純男

(西日本鉄道株式会社 会長)

## 目 次

ご挨拶	1	委員会と活動内容	13
運営組織図、事務局組織図	2	交流・懇談会活動	16
正副会長および常勤役員	3	関連団体の活動	17
役員名簿	4	広報活動、本会要望・意見等	20
九経連の活動	5	九経連のあゆみ	21
九州将来ビジョン2030／2022年度主な活動実績	9	入会のご案内	24
2023年度事業方針／事業計画	11		

# 運営組織図



## 正副会長・委員長会議

会長、副会長、委員長、常勤理事で構成され、九経連活動の運営上、特に重要な事項に関する審議を行う機関です。

## 審議委員会

当地域に本社を有する会員企業の社長・会長等の方々で構成され、理事会が決定した方針に従って、特に重要な政策事項の方向性および実施事業のあり方に関する審議を行う機関です。

## 顧問会

当地域外に本社を有する会員企業の社長等役員の方々で構成され、本会活動や当地域経済の現況などの懇談を通じ、中央財界人との緊密な連携を保っています。

## 諮問委員会

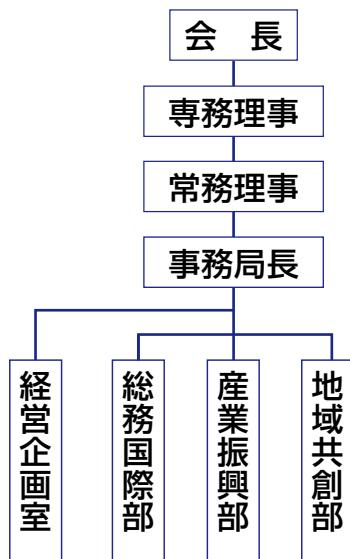
当地域に本社を有する会員企業、あるいは当地域を管轄する事業所の代表者の方々で構成され、懇談を通じて本会活動や会務に関して助言や意見をいただく会長の諮問機関です。

## 【事業推進機関】

### 委員会

- 資源エネルギー・環境委員会
- 産業振興・デジタル推進委員会
- 地域共創委員会
- 交通委員会
- 関門連携委員会
- 北九州地域委員会
- 筑後地域委員会
- 佐賀地域委員会
- 長崎地域委員会
- 熊本地域委員会
- 大分地域委員会
- 宮崎地域委員会
- 鹿児島地域委員会
- 山口地域委員会

# 事務局組織図



## シンボルマークについて

九州経済連合会の頭文字「K」を図案化したもので、創立30周年を記念して1991年4月に制定いたしました。風にはためく“フラッグ”状の「K」が、若さとエネルギーと希望に満ちた九州・山口・沖縄を表現しています。9つのストライプが九州・山口・沖縄9県を意味し、ネイビーブルーの色は若さと未来を象徴しています。



# 正副会長および常勤役員

2023年7月1日現在

(副会長は会長職務代行を除き就任年月日順)



会長 倉富 純男  
〔西日本鉄道(株)会長〕



副会長 柴戸 隆成  
〔第一会長職務代行〕  
〔(株)福岡銀行会長〕



副会長 甲斐 隆博  
〔第二会長職務代行〕  
〔(株)肥後銀行会長〕



副会長 上村 基宏  
〔(株)鹿児島銀行会長〕



副会長 森 拓二郎  
〔(株)十八親和銀行会長〕



副会長 瓜生 道明  
〔九州電力(株)会長〕



副会長 大嶺 満  
〔沖縄電力(株)会長〕



副会長 喜多村 円  
〔TOTO(株)会長〕



副会長 唐池 恒二  
〔九州旅客鉄道(株)相談役〕



副会長 後藤富一郎  
〔(株)大分銀行頭取〕



副会長 坂井 秀明  
〔(株)佐賀銀行頭取〕



副会長 永田 理  
〔トヨタ自動車九州(株)社長〕



副会長 神田 一成  
〔(株)山口銀行会長〕



副会長 杉田 浩二  
〔(株)宮崎銀行頭取〕



専務理事 堀江 広重



常務理事 田中 徹

# 役員名簿

2023年7月1日現在

## 会長

倉富純男 西日本鉄道(株)

会長

## 名誉会長 (2名 麻生名誉会長は理事)

松尾新吾 九州電力(株)

特別顧問

麻生泰 麻生セメント(株)

会長

## 副会長 (13名 会長職務代行を除き就任年月日順)

(第一会長職務代行)

柴戸隆成 (株)福岡銀行

会長

(第二会長職務代行)

甲斐隆博 (株)肥後銀行

会長

上村基宏 (株)鹿児島銀行

会長

森拓二郎 (株)十八親和銀行

会長

瓜生道明 九州電力(株)

会長

大嶺満 沖縄電力(株)

会長

喜多村円 TOTO(株)

会長

唐池恒二 九州旅客鉄道(株)

相談役

後藤富一郎 (株)大分銀行

頭取

坂井秀明 (株)佐賀銀行

頭取

永田理 トヨタ自動車九州(株)

社長

神田一成 (株)山口銀行

会長

杉田浩二 (株)宮崎銀行

頭取

## 理事 (12名 就任年月日順)

池内比呂子 (株)ノホールディングス 社長

米良充典 米良電機産業(株) 会長

石坂淳子 (株)ひよ子 社長

大浦敬子 (株)おとなの学校 代表取締役

石橋達朗 国立大学法人 九州大学 総長

村上英之 (株)西日本シティ銀行 頭取

小笠原浩 (株)安川電機 会長

佐藤清一郎 (株)筑邦銀行 頭取

中田昌宏 日本製鉄(株) 常務執行役員  
九州製鉄所長

藤井一郎 (株)九電工 会長

右田聖秀 西日本電信電話(株) 執行役員  
九州支店長

依田直久 (株)ブリヂストン 九州・山口地区  
統括部門長

## 監事 (2名 就任年月日順)

酒見俊夫 西部ガスホールディングス(株) 会長

根本浩二 (株)NTTドコモ 執行役員  
九州支社長

## 事務局役員 (2名 常勤)

堀江広重 (一社)九州経済連合会 専務理事

田中徹 (一社)九州経済連合会 常務理事

# 九経連の活動

## 活動概要

本会は、1961(昭和36)年の創立以来、「九州はひとつ」の理念のもとに、地域経済の活性化を目指し、地域一体となつた活動を展開してまいりました。

2021年の創立60周年を機に策定した「九州将来ビジョン2030」では、“経済の成長と生産性向上”と併せて、心の豊かさを成長につなぐ“幸せコミュニティ”を未来のありたい姿として打ち出しています。地域経済を活性化させるとともに、暮らしやすさを高め<共生>、さまざまな人から選ばれる地域を目指します<共感>。これにより、多様な人材がイノベーションを起こすことで新たな価値が生まれ<共創>、地域の魅力が高まり、さらには人が集まって経済成長を加速させるような地方創生の新たな好循環モデルの確立を目指します。『共生・共感・共創アイランド九州』の実現に向けて、九州の強みを活かし、未来を拓く取り組みに挑戦しています。

本会活動を推進する中核体は委員会です。「行動し実践する九経連」として、各種プロジェクトを企画立案し具現化するとともに、関連団体との連携を強化し、海外との経済交流事業や各種の提言・要望活動等を実施しています。2021年度以降、本会は、2030年のありたい姿およびその実現に向けた課題を踏まえ、取り組むべき重点施策をアクションプランに落とし込み、産学官民の連携を促進しながら、私たちのミッション「九州から日本を動かす」気概のもと、3カ年ごとの中期事業計画を策定して着実に活動を展開しています。

また、九州地方知事会と地元経済4団体で構成する「九州地域戦略会議」など、国や自治体、関係機関等と連携を図り、地域自立のための政策提言や実践活動を推進しています。

ポストコロナの時代を切り拓くため、イノベーションの力で新たな成長を生み出すとともに、人を惹きつける地域産業の強み・魅力向上への取り組みを加速させ、成功事例として九州から全国へ発信してまいります。

## 目的および主要な活動

本会は、産業経済に関する諸問題を調査研究し、九州地方における経済界の意見を取りまとめて、その実現を図り、同地域経済の総合的な振興を通じてわが国経済の発展に寄与することを目的に各種事業に取り組んでいます(定款第3条、4条 1～5号)。

\* 定款については九経連ホームページ上に掲載しています。

# 九州から日本を動かす

Move JAPAN forward from 九州!

## 九州将来ビジョン2030

九州経済連合会は2021年5月、創立60周年の節目に「**九州将来ビジョン2030**」を策定しました。

『**共生・共感・共創アイランド九州～成長と心の豊かさをともに～**』がビジョンのコンセプトで、九州にいれば自分の思いを実現できる、やってみようという雰囲気をつくる、九州をそのような場にすることが「心の豊かさ」につながり、結果として九州の持続的成長にもつながると思っています。

### ●基本目標 (Key Goal Indicator)

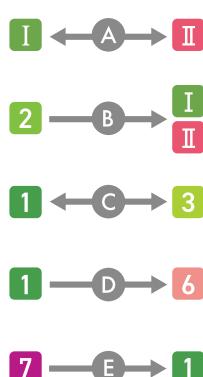
国の想定を上回る経済成長（全国1.3%、九州2.1%）を達成し、2030年の**1人当たりGRP 『500万円』**を目指します。

（2018年の九州の1人当たりGRPは360万円で、プロック別では全国最下位の低水準）

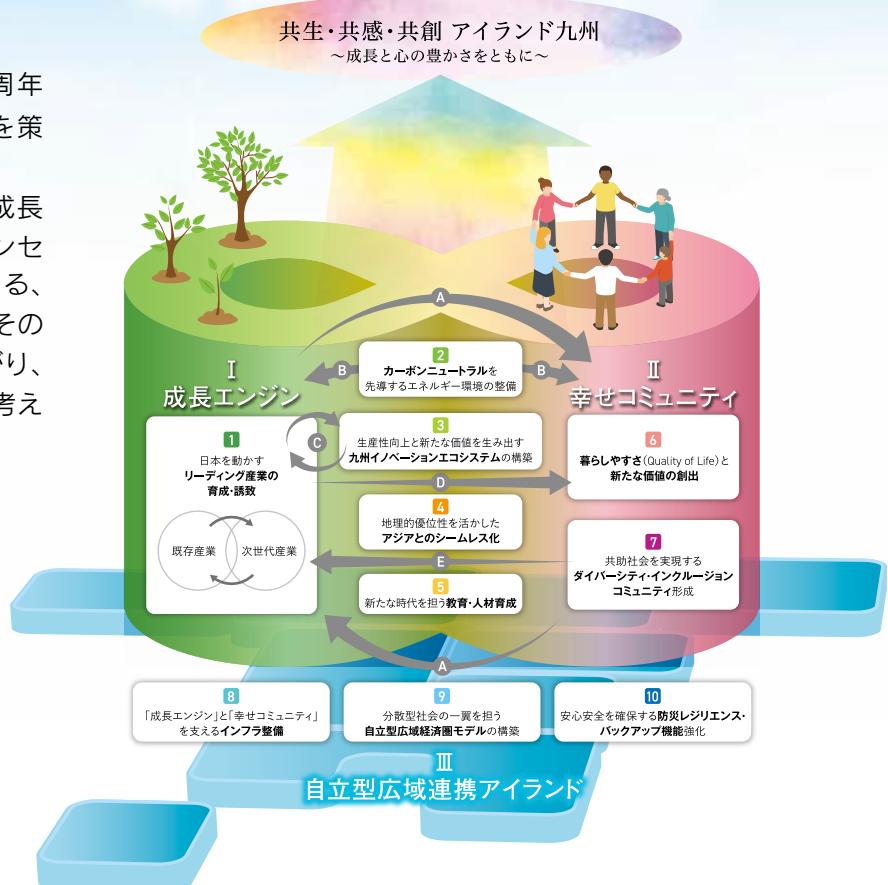
## ありたい姿

- I 新たな時代の成長エンジン  
～「九州から日本を動かす」気概と情熱で  
地域経済社会の先進モデルを確立～
- II 心の豊かさを成長につなぐ幸せコミュニティ  
～多様な人材を活かし、新たな価値創出を促す～
- III 自立型広域連携アイランド  
～九州のポテンシャルを活かし、  
強固な連携で成長と心の豊かさを支える～

矢印が示す関係性



- 成長エンジンとして九州の経済を活性化し、暮らしやすさなど地域の魅力を高め、多様な人々が集まり活躍することでさらなる地域経済の活性化につなげる好循環を創り出す
- ゼロエミッションエネルギーの環境を整備することで持続的な産業の成長やあらゆる人々の幸せな暮らしを支える
- 未来を担うリーディング産業の育成・誘致によって新たな技術やイノベーションが生まれるエコシステムの構築につなげ、さらに、エコシステムによって新たな産業が生まれる好循環を創り出す
- 未来を担うリーディング産業の育成・誘致で生まれたスマートシティなどの新たな技術を活かしQOL向上につなげる
- 共助社会を実現するダイバーシティ・インクルージョンコミュニティ形成により、多様な人々が活躍することで産業の活性化につなげる



### ●実現に向けて取り組むべき10の課題とその関係図 (イメージ)

共生と共感によって、成長と心の豊かさが相互に好影響を与え合い、新たな価値を共創する持続可能な地域を目指します。

# 「九州将来ビジョン2030」実現に向けた 10の課題と具体的活動

## 日本を動かすリーディング産業の育成・誘致

(I)

課題  
1



具体的  
的活動

- 1 九州の強みを活かした農林水産業・観光産業の活性化
- 2 次世代リーディング産業誘致・産業活性化(航空・宇宙・バイオ・医療・医薬・素材・エネルギー等)
- 3 “グローカル”産業の育成(ローカル産業のグローバル化)
- 4 DXによる産業構造の新構築・最適化(フィジタル&サイバー2階建て産業構造の構築)
- 5 産業の価値創出・生産性向上(生産性革命)

## カーボンニュートラルを先導するエネルギー環境の整備

(I) (II) (III)

課題  
2



具体的  
的活動

- 6 水素、電化、メタネーションガス社会への転換
- 7 エネルギーの「S+3E」\*を前提としたエネルギー・ミックス(再エネの主力電源化・原子力の着実な運用)の追求
- 8 脱炭素社会の実現に向けた革新的技術の開発・導入活用
- 9 分散型エネルギー需給モデルの構築
- 10 ESG投資・グリーン調達の拡大に向けた環境整備

\*S+3E: 安全性、エネルギー自給率、経済効率性、環境適合

## 生産性向上と新たな価値を生み出す 九州イノベーションエコシステムの構築

(I) (II)

課題  
3



具体的  
的活動

- 11 持続的な産業活性化に向けた産学連携
- 12 企業内ベンチャー・企業間連携イノベーションの創出を促す環境の整備
- 13 エコシステムの中核となる企業・産業・研究所・大学の集積

## 地理的優位性を活かしたアジアとのシームレス化

(I) (II)

課題  
4



具体的  
的活動

- 14 アジア市場と自由にモノの往来ができるサプライチェーン構築
- 15 魅力ある投資環境の整備(国際金融センター等や外国企業の日本支社誘致等)
- 16 アジア・世界とつながるデジタル環境の整備

課題  
5



具体的  
的活動

## 新たな時代を担う教育・人材育成

(I) (II)

デジタル化やグローバル化が加速する中で、IT人材、グローバル人材を確保するため、国際競争力ある人材育成メニューの充実や、その人材を受け止める組織インフラ・制度の整備に取り組む。

- 17 世界中の優秀な人材の集積地化に向けた教育機関の整備
- 18 次世代や世界で通用する人材を育てる教育プログラムの構築  
(グローバル・STEAM・ICT・社会課題解決などの人材育成、リカレント教育推進)
- 19 多様な人材の成長を促す人材流動化

## ありたい姿

- (I) …新たな時代の成長エンジン
- (II) …心の豊かさを成長につなぐ幸せコミュニティ
- (III) …自立型広域連携アイランド

課題

6



### 暮らしやすさ(Quality of Life)と新たな価値の創出

(I)(II)

地域の資産(自然や文化など)の恩恵を享受しつつ、イノベーションによって各人が求める働き方や生き方が実現できる地域モデルを創る。

- 具体的活動
- 20 医療および福祉環境の充実(ヘルステック推進等)
  - 21 MaaSによる地域交通網の最適化
  - 22 自然環境・文化・歴史的価値向上と伝統継承
  - 23 デジタルを活用した働き方のニューノーマル化(リモートワーク、コワーキング、ワーケーション)

課題

7



### 共助社会を実現するダイバーシティ・インクルージョンコミュニティ形成

(II)

誰もが属性に捉われずチャレンジして活躍できる社会を目指し、多様な価値観を認め、各人の強みを活かし共助共生しながらともに成長できるコミュニティを形成する。

- 具体的活動
- 24 誰もが可能性を最大限発揮できる風土醸成と社会システムの構築(ダイバーシティ経営の推進、次世代層・女性のエンパワーメント等)
  - 25 あらゆる人々の多様性が受容される基礎インフラの整備
  - 26 社会的課題を地域のつながりで解決する(共助)コミュニティの構築
  - 27 外国人との共生に向けたグローバライズ

課題

8



### 「成長エンジン」と「幸せコミュニティ」を支えるインフラ整備

(III)

バランス良く配置された九州の各都市の経済・生活機能が効率的かつ最大限に発揮できるよう、地域間連携に資するICT基盤や産学官民連携したデータ流通の促進および交通インフラの整備に取り組む。

- 具体的活動
- 28 データ駆動型社会の基盤整備
  - 29 域内港湾の一括管理による運営効率化
  - 30 九州一体となった空港施策の実現を可能にするためのプラットフォームの設置と国際金融都市に相応しい国際路線の充実
  - 31 高規格幹線道路網の整備促進と下関北九州道路の事業化

課題

9



### 分散型社会の一翼を担う自立型広域経済圏モデルの構築

(III)

人口減少、高齢化が加速している中でも地域経済・コミュニティを維持できるよう、強みである広域連携力を活かして、9県が自立しつつも一体となって地域活性化に取り組む連携モデルを構築する。

- 具体的活動
- 32 分散型社会の実現に不可欠な広域行政の枠組み構築
  - 33 各地域の強みを活かした多様なビジネス環境の整備

課題

10



### 安心・安全を確保する防災レジリエンス・バックアップ機能強化

(III)

異常気象や巨大地震発生などのリスクが年々高まる中、住民が安心して生活できるよう防災レジリエンス(予測力・予防力・対応力)を高めるとともに、首都圏での災害発生時のバックアップ機能構築にも取り組む。

- 具体的活動
- 34 強靭な防災・減災・感染症対策機能を有する地域の実現と国家バックアップ機能の構築(住民の安心・安全)
  - 35 デジタルガバメントモデル構築

# 九州将来ビジョン2030 / 2022年度主な活動実績

コロナ禍からの回復が進んだ2022年度は、「九州将来ビジョン2030」に基づく第1期中期計画（2021～2023年度）の2年目として、【3つの戦略】を活動方針の柱とし、委員会を中心にスピード感を持って諸活動を展開しました。

## 【戦略1】地域共創withコロナ：

コロナ禍で落ち込んだ社会経済活動の活性化を図るため、機運醸成などに取り組みました。

## 【戦略2】ありたい姿実現に向けたチャレンジ：

コロナ後の未来を切り拓くイノベーションや地域創生に重点的に取り組みました。

## 【戦略3】みらいへの投資：

成果が出るまでに期間を要する基盤整備について、デジタル・広域連携の観点などから推進しました。

## 【戦略1】地域共創withコロナ

### ●感染状況に応じた社会経済活動の活性化へ

政府が新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針を見直し、マスク着用の新たな考え方を示す中、経済界としても積極的に移動・交流し、社会経済活動の活性化を本格化させていくために、業務中のマスク着用緩和について、基本的考え方を公表しました（2022年6月）。



こうした方針のもと、機運醸成を図るため、接種証明やPCR検査等で参加者200名の陰性を確認の上、3年ぶりに九州地域戦略会議「夏季セミナー」を開催しました（2022年8月）。

「新たな価値とともに創るKYUSHU(九州)を目指して～ニューノーマル時代の豊かさとは～」をテーマに、活発な議論が行われました。



## 【戦略2】ありたい姿実現に向けたチャレンジ

### ●シリコンアイランド九州の復活(半導体)

「九州半導体人材育成等コンソーシアム」に参画し、地元を挙げて人材育成を支援する体制づくりに協力。

また、首相官邸において開催された「国内投資拡大のための官民連携フォーラム」に倉富純男会長が出席し、岸田文雄首相をはじめ、西村康稔経済産業相ら関係閣僚へ、九州における投資状況・取り組みを報告しました（2022年12月）。



### ●ベンチャー・エコシステム構築

新規事業・新産業の創出に向けて、九州・大学発ベンチャー振興会議を開催し、大学からのシーズ提案に対し、総額5,200万円規模のGAP資金を配分して事業化支援を行いました。

また、地域企業のDXを支援するため、九州DX推進コンソーシアムとして、「人材育成」と「産業創造」の2軸で、8つのワーキンググループを立ち上げ、九州DX推進シンポジウムの開催などに取り組みました（2023年2月）。

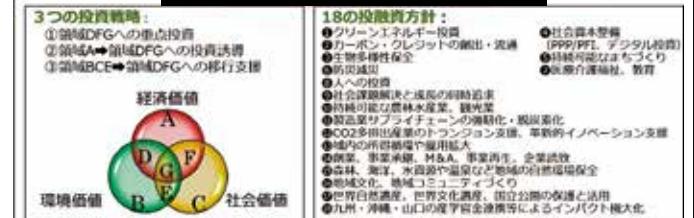


### ●カーボンニュートラル

地域のサステナビリティを高める3つの投資戦略と18の投融資方針からなる「九州・沖縄・山口ESG投融資方針」を公表しました（2022年9月）。

九州の豊かな自然資源やクリーンエネルギーなど環境貢献度や社会貢献度の高い成長分野に、地域金融機関の投融資をはじめ、民間設備投資や公共投資を誘導する戦略です。投融資の力で、経済価値、環境価値、社会価値の3価値を統合的に高めることで、経済成長と同時に、環境保全、地域社会のレジリエンス強化など、サステナブルな地域づくりを推進します。

### 九州・沖縄・山口ESG投融資方針の概要



### ●航空宇宙開発推進

九州航空宇宙開発推進協議会において、第3次アクションプランを策定しました。

航空・宇宙の分野において、宇宙開発ビジネス交流会の開催を中心に、計6つのアクションが始動しました。

## ●新たな観光資源創出

ツール・ド・九州2023の開催に向けた取り組みを強化するため、専任事務局として法人を設立。UCI(国際自転車競技連合)からクラス1に認定され、株式会社マイナビが冠スポンサーに決まりました。

また、九州・長崎IR(統合型リゾート)の誘致実現へ向けて、国への「区域整備計画」の申請(2022年4月)を支援しました。

## ●観光を軸にした地域プロデュース

地域活性化および市民サービス向上に向けた包括連携協定を鹿児島県指宿市と締結しました。

また、地域活性化に向けて関係人口を創出するため、福岡県うきは市において、人手不足の農家と地域外の企業や大学をマッチングし、地域課題の改善に向けた「SDGs農活」を実施しました。



## ●「幸せコミュニティ」づくり

九経連の創立60周年記念式典にて、「幸せコミュニティ」指標を公表しました(2022年6月)。

また、九州企業ジェンダーギャップ指数(EGGI)を策定し、九州各地域の従業員規模101人以上の会員企業および団体に協力を依頼、261社・団体より回答協力を得ました。



## ●農林水産業活性化共創モデル

九州の食輸出協議会を活用した販路拡大に向けた伴走支援として、イオングループマレーシア・カンボジアの現地4店舗で「九州フェア」を継続開催しました(2022年6月、11月)。



「地域農業を地域企業で支える仕組み」の基点となる取り組みとして、農林中央金庫・JA全農ふくれん(連携協定先)と協働して、生産者と企業援農者を結ぶプラットフォームを選定し、援農を試行しました(2023年2月)。

また、生産者の販路拡大支援のため、高鮮度の果物を空輸(貨客混載)し、東京の小売店で販売する仕組みも実証しました(2023年2月)。

域外企業の九州農業への参入促進に向けた取り組みとしては、「農業活性化に向けた企業タイアップセミナー」(経団連共催)を実施するとともに、参加企業と各県との連携を深めるため、九州産品の展示も織り込んだ交流会を併催しました(2022年10月)。



## 【戦略3】みらいへの投資(基盤整備)

### ●スマートリージョン構想の具現化

九州地域戦略会議「夏季セミナー第4分科会」において、九州が一体となりデジタルを活用した広域連携を実現するための理念・原則を討論しました。

第42回九州地域戦略会議では、『九州広域でのデータ連携基盤の構築』が採択されました(2022年10月)。



#### ① データ連携基盤の構築

##### 九州地域戦略会議 九州創生アクションプラン「JEWELS+」

しごとづくりPT  
(九経連会長、福岡県知事、九商連会長)

地域活力づくりPT  
(長崎県知事、宮崎県知事、九経連副会長)

##### 九州広域データ連携プラットフォーム検討会(新設)

デジタルによる官民広域連携(広域データ連携)により全国でも先導的なモデル構築を目指す。

九州DX推進  
コンソーシアム

各県DX推進団体

#### ② ユースケースの検討

広域連携が効果的な防災・医療分野でのユースケースを検討。

### ●九州MaaS構築

グランドデザインの作成に向け、第41回九州地域戦略会議において、九州MaaS構築に向けた研究会の設置が承認されました。その後、九州MaaSシンポジウム2022や、九州MaaSプロジェクト研究会を開催し、グランドデザイン(案)を取りまとめました。



### ●アジアとのつながりの強化

九州・タイヘルスケアミッションを派遣しました(2023年2月)。

また、九州・ベトナム経済交流ミッションを派遣し、九州プロモーションセンターinハノイ(KPC)のグランドオープニングセレモニーを開催しました(2023年3月)。



# 2023年度事業方針 / 事業計画

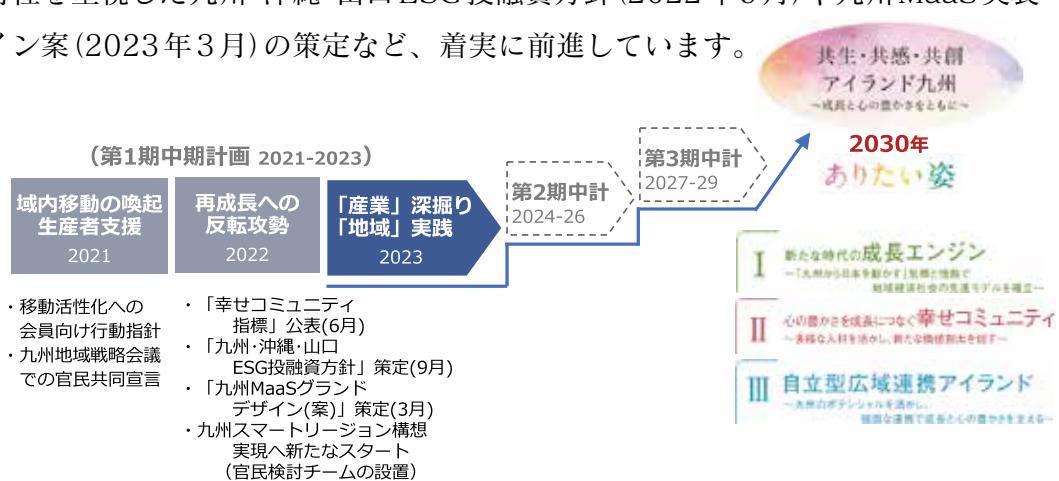
2023年度は、第1期中期計画(2021~2023年度)の総仕上げの年です。会員の皆様をはじめ関係各所と連携して、戦略遂行への活動を一層強化し、さらなる成果に結びつけてまいります。

## <第1期中期計画(2021~2023年度)>

九州将来ビジョンで、2030年の“九州のありたい姿”に掲げる、

「Ⅰ. 成長エンジン」「Ⅱ. 幸せコミュニティ」「Ⅲ. 自立型広域連携アイランド」の実現に向けて、原則3年ごとに中期計画を策定して、3ステップで取り組んでいます。

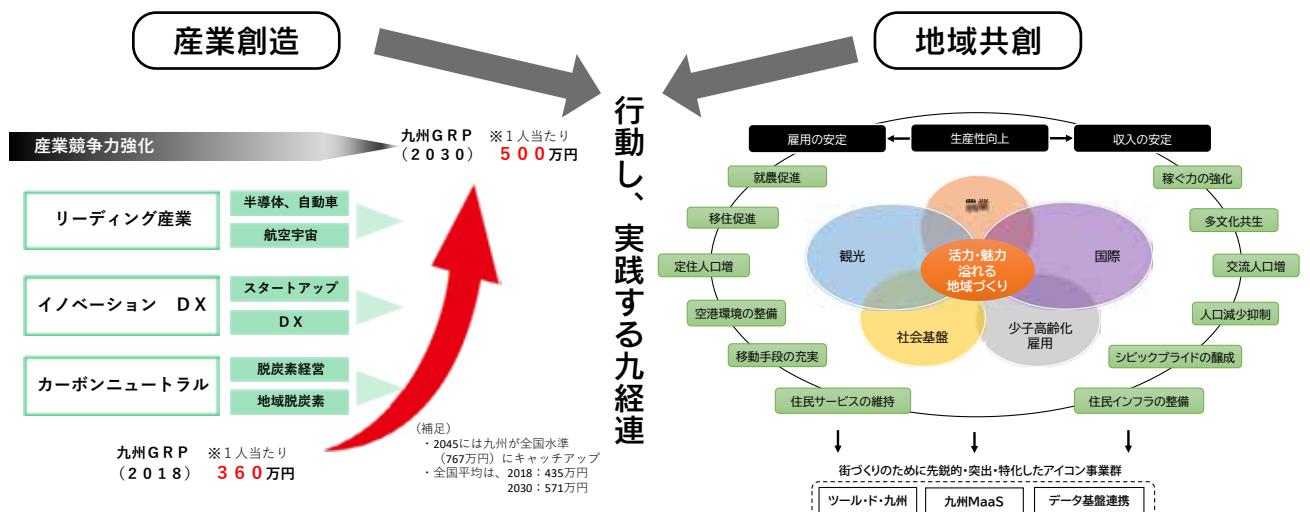
2021年度からの第1期中期計画では、「幸せコミュニティ」づくりへの指標公表(2022年6月)、九州の特性を重視した九州・沖縄・山口ESG投融資方針(2022年9月)や九州MaaS実装へのグランドデザイン案(2023年3月)の策定など、着実に前進しています。



## <2023年度事業方針>

最優先課題は、コロナ禍や物価高騰に伴う負担増で苦境にある企業の事業継続に資する取り組みです。地域や企業の声を集め、必要な施策を政府などへ訴えてまいります。

さらに、コロナ後の未来を切り拓くため、イノベーションの力で新たな成長を生み出す「産業創造」の取り組みをさらに深掘りするとともに、特に、地域に根差した魅力ある九経連活動を強化し、[農業/観光/雇用/社会基盤/国際]の掛け合わせによって、個々の領域の課題解決と地域の発展を同時に実現していくための「地域共創」による実践的な活動を展開してまいります。



# 2023年度事業計画（概要）

【戦略Ⅰ】地域共創withコロナ		
経済対策	(1)経済的苦境にある地域企業の事業継続に向けた支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>会員向けメッセージや、国・自治体への要請を機動的に発信</li> </ul>
【戦略Ⅱ】ありたい姿実現に向けたチャレンジ		
リーディング産業	(2)半導体産業基盤の強化に向けたオール九州での戦略展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>オール九州の観点からの課題解決・規模拡大の戦略展開策の策定</li> <li>半導体サプライチェーン強靭化に資する取り組み</li> </ul>
イノベーションDX	(3)航空宇宙産業の市場創出・拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>九航協・第3次アクションプラン（2022年7月策定）の遂行</li> </ul>
	(4)切れ目のないスタートアップ支援体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベンチャー成長段階別の切れ目のない支援プログラムの拡充・体制強化</li> <li>各大学の強み・シーズを活用した地域の課題解決に資する活動強化</li> </ul>
	(5)九州一体となったDXの実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州各地のDX実践・成功事例を共有するためのネットワーク構築</li> <li>地域企業向けDX導入コンサル事業の継続と、展開の仕組みづくり</li> <li>地域企業の人材確保に資する「ICT人材インターンシップ事業」の広域展開</li> </ul>
カーボンニュートラル	(6)地域企業の脱炭素経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>「九州・沖縄・山口ESG投融資方針」（2022年9月策定）に基づく具体的プロジェクトの推進</li> <li>「CN推進研究会」による脱炭素技術の社会実装に向けた具体策の検討</li> </ul>
	(7)官民連携による地域の脱炭素化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境省九州地方環境事務所との連携による「脱炭素先行地域」組成支援</li> </ul>
魅力・活力溢れる【地域】の創造	(8)地域の稼ぐ力を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力ある九州の「農林水産業活性化共創モデル」づくりへのチャレンジ</li> <li>「住んでよし、訪れてよし、働いてよし」の九州を実現する観光SDGs推進</li> </ul>
地域の課題解決	(9)人の流れを生み出す	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ツール・ド・九州2023」の開催</li> <li>九州・長崎IRの早期開業へ向けた取り組みへの協力</li> <li>地域を支える担い手と関係人口拡大に資する活動</li> </ul>
	(10)多様な人材が能力を発揮できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジェンダー不平等を乗り越えるための官民一体の取り組み</li> <li>産業競争力強化に向けた高度外国人材の獲得に資する取り組み</li> </ul>
	(11)安心して暮らし続けられる	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルを活用した医療、防災等の官民サービス創出、モデルプロジェクトの検討・実施 *（12）にも記載</li> <li>自動運転）「レベル4」解禁に伴う九州における社会実装プロジェクトの取り組み強化 *（13）にも記載</li> <li>「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」取り組み</li> </ul>
【戦略Ⅲ】みらいへの投資（基盤整備）		
データ駆動型社会	(12)「スマートリージョン構想」の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州全体での官民データの収集・分析・活用を促す「広域データ連携プラットフォーム」構築</li> <li>デジタルを活用した医療、防災等の官民サービス創出、モデルプロジェクトの検討・実施</li> </ul>
インフラネットワーク	(13)地域公共交通ネットワークの維持および観光活性化に資する「九州MaaS」実装	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州MaaS実行組織準備会の発足と、実装に向けた検討・準備</li> <li>データ利活用）将来的な九州MaaSデータ連携基盤構築に向けたPoC開始</li> <li>自動運転）「レベル4」解禁に伴う九州における社会実装プロジェクトの取り組み強化</li> </ul>
海外展開プラットフォーム	(14)広域連携を活かしたアジアとのつながりの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>「九州プロモーションセンターinハノイ（KPC）」を中心としたアセアン戦略の構築・実践</li> <li>オール九州の官民による海外ミッション派遣</li> </ul>
	(15)「九州将来ビジョン2030」フォローアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>「幸せコミュニティ」指標の進捗評価・検証</li> <li>第2期中期計画（2024～2026年度）の策定</li> </ul>

# 委員会と活動内容

## 資源エネルギー・環境委員会（担当：産業振興部）

委員長 瓜生 道明 〔九州電力(株) 会長〕

企画部会長 戸上 信一 〔(株)戸上電機製作所 社長〕



瓜生委員長

持続可能な世界屈指のクリーンエネルギー九州を実現するため、再生可能エネルギーの有効活用やそれに資する資金調達などの体制を整備し、需要側を含めた環境先進モデルを構築して経済成長に寄与します。

### 【2023年度活動内容】

- ① 「九州・沖縄・山口ESG投融資方針」(2022年9月策定)に基づく具体的プロジェクトの推進
- ② 「CN推進研究会」による脱炭素技術の社会実装に向けた具体策の検討
- ③ 環境省九州地方環境事務所との連携による「脱炭素先行地域」組成支援

## 産業振興・デジタル推進委員会（担当：産業振興部）

共同委員長 小笠原 浩 〔(株)安川電機 会長〕

共同委員長 右田 聖秀 〔西日本電信電話(株) 執行役員 九州支店長〕



副委員長 米良 充典 〔米良電機産業(株) 会長〕

産業振興部会長 米良 充典 〔米良電機産業(株) 会長〕



デジタル推進部会長 松枝 伸幸 〔九州電力(株) 情報通信本部 電子通信部長〕



小笠原委員長

右田委員長

「九州将来ビジョン」の実現に向け、デジタル・グリーンを機軸に、産学官連携・地域連携によるイノベーションを通じて、九州における戦略産業の育成・振興、および持続的な成長実現、生産性向上ならびに地域課題解決・エコシステム構築を目指します。

### 【2023年度活動内容】

- ① オール九州の観点から半導体産業に関する課題解決・規模拡大の戦略展開策策定
- ② 半導体サプライチェーンの強靭化に資する取り組み
- ③ 九州航空宇宙開発推進協議会・第3次アクションプランの遂行(九航協航空産業連絡会議、宇宙開発ビジネス交流会等)
- ④ ベンチャー成長段階別の切れ目のない支援プログラムの拡充・体制強化
- ⑤ 各大学の強み・シーズを活用した地域の課題解決に資する活動強化
- ⑥ 九州各地のDX実践・成功事例を共有するためのネットワーク構築
- ⑦ 地域企業向けDX導入コンサル事業の継続と、展開の仕組みづくり
- ⑧ 地域企業の人材確保に資する「ICT人材インターンシップ事業」の広域展開
- ⑨ 九州全体での官民データの収集・分析・活用を促す「九州広域データ連携プラットフォーム(仮称)」構築

## 地域共創委員会（担当：地域共創部）【新設】

委 員 長 池内比呂子 〔(株)テノホールディングス 社長〕

副 委 員 長 喜多村 円 〔TOTO(株) 会長〕

副 委 員 長 唐池 恒二 〔九州旅客鉄道(株) 相談役〕

地域づくり部会長 篠崎 和敏 〔(株)JTB 執行役員 ツーリズム事業本部 九州エリア広域代表〕

規制改革推進部会長 石丸 修平 〔九州大学 客員教授(福岡地域戦略推進協議会 事務局長)〕



池内委員長

従来の4つの委員会(観光、農林水産、行財政、ダイバーシティ「幸せコミュニティ」推進)を統合。地域の社会課題解決と魅力向上による「地方創生」に重点を置き、特定エリアを舞台とする実践的モデル事業と、九州の総意形成による九州一体の取り組みの両輪で事業を開拓し、多様な人々が幸せを感じながら活躍できる、持続可能な地域づくりを目指します。

### 【2023年度活動内容】

- ① 魅力ある九州の「農林水産業活性化共創モデル」づくりへのチャレンジ
- ② 「住んでよし、訪れてよし、働いてよし」の九州を実現する観光SDGsの推進
- ③ 「ツール・ド・九州2023」の開催(10月6日～9日)
- ④ 九州・長崎IRの早期開業へ向けた取り組みへの協力
- ⑤ 地域の担い手と関係人口拡大に資する活動
- ⑥ ジェンダー不平等を乗り越えるための官民一体の取り組み
- ⑦ 産業競争力強化に向けた高度外国人材の獲得に資する取り組み
- ⑧ デジタルを活用した医療、防災等の官民サービス創出、モデルプロジェクトの検討・実施(「スマートリージョン構想」の推進)
- ⑨ 「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」取り組み

## 交通委員会（担当：地域共創部）

委 員 長 森 拓二郎 〔(株)十八親和銀行 会長〕

企画部会長 清水 信彦 〔西日本鉄道(株) 専務執行役員〕



森委員長

九州の一体的な発展を目指すため、「アジアに近い九州」という強みを活かし、観光・産業振興、アジアのゲートウェイとしての空港・港湾機能の向上、循環型高速交通網および地域公共交通網の整備等を推進します。

### 【2023年度活動内容】

- ① 九州MaaS実行組織準備会の発足と実装に向けた検討・準備
- ② データ利活用)将来的な九州MaaSデータ連携基盤構築に向けたPoC開始
- ③ 自動運転「レベル4」解禁に伴う社会実装プロジェクトの取り組み強化
- ④ 東九州自動車道、下関北九州道路等、九州域内道路網に関する効果的な大会・要望活動

## 関門連携委員会（担当：地域共創部）

委 員 長 神田 一成 〔(株)山口銀行 会長〕

副 委 員 長 清原 生郎 〔関門港湾建設(株) 社長〕

副 委 員 長 富山 隆 〔日産自動車九州(株) 社長〕



神田委員長

九州と本州の連携を強化し、関門地域の一体的発展を図るため、地域振興における発展戦略について調査・検討を進めます(中国経済連合会との合同委員会)。

### 【2023年度活動内容】

- ① 2022年度調査検討結果を踏まえ、関門地域の認知度向上に向けた方策、および同地域の周遊コンテンツの状況等に関する調査・検討
- ② 下関北九州道路の早期実現に向けた要望活動、および関連する調査検討の実施

## 各地域委員会（担当：地域共創部）

北九州地域委員会委員長 中田 昌宏	〔日本製鉄㈱ 常務執行役員九州製鉄所長〕	大分地域委員会委員長 後藤富一郎	〔㈱大分銀行 頭取〕
筑後地域委員会委員長 佐藤清一郎	〔㈱筑邦銀行 頭取〕	宮崎地域委員会委員長 杉田 浩二	〔㈱宮崎銀行 頭取〕
佐賀地域委員会委員長 坂井 秀明	〔㈱佐賀銀行 頭取〕	鹿児島地域委員会委員長 上村 基宏	〔㈱鹿児島銀行 会長〕
長崎地域委員会委員長 森 拓二郎	〔㈱十八親和銀行 会長〕	山口地域委員会委員長 神田 一成	〔㈱山口銀行 会長〕
熊本地域委員会委員長 甲斐 隆博	〔㈱肥後銀行 会長〕		

各地域の産業経済に関する諸問題を調査研究し、意見を取りまとめ、九経連全体としての活動に反映させることにより、その解決、実現を図ることを目的として、地域に根差した魅力ある九経連活動を開します。

### 【2023年度活動内容】

- ① 九経連全体の地域課題解決プロジェクトとの協働・連携事業
- ② 講演会・視察会等による調査研究、会員との意見交換会を通じた各地域固有の課題の抽出と九経連活動への反映
- ③ 会員相互の交流・連携の促進

## 九州地域戦略会議

共同議長 蒲島 郁夫 〔九州地方知事会 会長(熊本県知事)〕

共同議長 倉富 純男 〔(一社)九州経済連合会 会長〕

官民一体となって九州の発展戦略を協議し、実行する機関として九州地方知事会と九州経済連合会、九州商工会議所連合会、九州経済同友会、九州経営者協会の地元経済4団体とで2003年10月に発足しました。年2回開催され、九州一体となった観光戦略の実施や九州独自の発展戦略の推進に一致協力して取り組んでいます。また、地元産官学が集い、さまざまなテーマについて議論する「夏季セミナー」も開催しています。



### 【活動内容】

#### (1) 九州地域戦略会議

官民一体となった九州独自の発展戦略の研究や具体的な施策を推進します。

・テーマ：「第2期九州創生アクションプラン(JEWELS+)」の見直し等

#### (2) 夏季セミナー

年1回産官学のトップリーダーが一堂に会し、九州の発展に向けた共同体意識を醸成するため、さまざまな課題について討議・提言を行っています(1泊2日)。

## 九州・大学発ベンチャー振興会議

（事務局：(一財)九州オープンイノベーションセンター、  
㈱FFGベンチャービジネスパートナーズ、九経連・産業振興部）

共同議長 石橋 達朗 〔国立大学法人九州大学 総長〕

共同議長 倉富 純男 〔(一社)九州経済連合会 会長〕

「優れた大学なくして地方の発展なし」という基本認識のもと、九州の産学が一体となって、地域経済発展の駆動力としての大学発ベンチャーを振興することを目的として、大学・経済界・ベンチャーキャピタルをつなぐ役割を果たし、大学シーズの速やかな実用化を支援します。

# 交流・懇談会活動

## 沖縄連携フォーラム

沖縄県経済団体会議との共催により、沖縄地区の会員のほか、沖縄の経済団体(12団体)とともに、九州・沖縄の連携ならびに両地域の相互理解、共通課題について意見交換・検討を行い、交流を図ります。



## 九州経済懇談会(経団連との懇談会)

日本経済団体連合会(経団連)との共催により、中央経済界との連携を目的に、わが国ならびに九州地域が当面する課題について、テーマを設け、意見交換を行います。



## 西日本経済協議会

北陸、中部以西の6経済連合会\*が連携して、西日本地域が当面する課題を取りまとめ、国等への要望を行います。

\*6経済連合会：

北陸経済連合会、(一社)中部経済連合会、(公社)関西経済連合会、  
(一社)中国経済連合会、四国経済連合会、(一社)九州経済連合会



## 産学連携懇談会

九州の発展戦略や産学連携に関する諸課題について意見交換を行い、産学連携プロジェクトの具体化推進を図ります。

【主要テーマ】「知」の拠点強化、共同研究・オープンイノベーション、課題解決型プロジェクト、  
地方創生、産業活性化、グローバル化、九州に求められる人材育成・確保等

## 九州経済を考える懇談会

九州の6経済団体\*の長が、九州経済の現状と重要課題について共有するとともに、課題の解決に向けた方向性について、年2回程度議論を行います。

\*6経済団体：(一社)九州経済連合会、九州商工会議所連合会、九州経済同友会、  
九州経営者協会、(一財)九州オープンイノベーションセンター、(公財)九州経済調査協会

## 九州女性の会

「九州で働く女性が、管理職や経営者として、九州ひいてはグローバルで活躍できるための資質を高める」を方針として掲げ、本会会員の女性経営者および女性管理職による勉強会や交流などを実施しています。

# 関連団体の活動

〔九経連役員が代表を務めるもの、  
または九経連が事務局を務めるもの〕

## 九州・沖縄地方産業競争力協議会 (会長：九経連会長、事務局：九州地方知事会、九州経済産業局、九経連・経営企画室)

九州・沖縄が今後重点的に推進すべき事項と方向性を示す成長戦略として策定した“九州・沖縄Earth戦略II”は、これまでの戦略4分野(①クリーン②医療・ヘルスケア・コスメティック③農林水産業・食品④観光)に、「SDGs」「先端技術」「働き方改革」「アフターコロナ」の4つの視点を加えた横断的プロジェクトを推進します。

## 福岡地域戦略推進協議会 (会長：麻生泰・九経連名誉会長)

福岡地域戦略推進協議会(Fukuoka D.C.)の活動\*に経済界として参画し、意見出しや支援を行うと同時に連携して活動します。

\*福岡の地域経済をグローバル化し、活力を維持強化していくため、産学官民が一体となったプラットフォームにおいて、成長戦略の策定から実施までを一貫して行う。

## 下関北九州道路建設促進協議会 (会長：九経連会長、事務局：九経連・地域共創部)

関門地域の一体化と交流拡大、地域経済の活性化に寄与するため、下関北九州道路の早期実現を目指し、以下の活動を実施します。

- ① 下関北九州道路の必要性や重要性を広くアピールし、早期実現に向けた機運を一層高めるため、関門連携委員会(九経連、中国経連)、下関北九州道路整備促進期成同盟会等と連携した整備促進大会の実施
- ② 国による環境影響評価と都市計画決定に関する調査検討の迅速かつ着実な実行に向け、関門連携委員会、下関北九州道路整備促進期成同盟会等と連携した要望活動の実施
- ③ 事業化のための課題と対応策について、下関北九州道路整備促進期成同盟会等関係機関との意見交換

## 東九州軸推進機構 (会長：九経連会長、事務局：九経連・地域共創部)

東九州地域の産業・経済をはじめとする地域社会の活性化を図るため、高規格幹線道路による循環型高速交通ネットワークの整備等を目指し、以下の活動を実施します。

- ① 東九州自動車道の全線開通等の早期実現のため、東九州自動車道建設促進協議会と連携した東九州自動車道建設促進地方大会および中央大会、提言活動の実施
- ② 一般国道220号「日南・志布志道路」「油津・夏井道路」の早期完成、加えて「南郷～奈留間」の早期事業化とともに全ての暫定二車線区間の四車線化、ならびに東九州地域の産業経済の活性化に資する社会資本整備の促進に関する要望
- ③ 東九州地域における交通インフラの整備促進に係る事業(特別事業)に対する支援・協力

## 九州圏広域地方計画協議会 (会長：九経連会長、事務局：九州地方整備局)

急激な人口減少、巨大災害の切迫等、国土に係るさまざまな課題に適切に対応していくため、国が推進する「国土のグランドデザイン2050」に基づき、九州の未来を担う新たな国土計画づくりに経済界として参画し、国・地方公共団体・経済団体が官民の枠を超えて、連携して推進していきます。

## 九州航空宇宙開発推進協議会（会長：九経連会長、事務局：九経連・産業振興部）

九州地域の航空機産業の育成・拡大と宇宙産業の創出を図るため、产学研官が一体となって技術レベルの向上や受注獲得のためのアプローチ支援等を行います。また、設立30周年を迎えた第3次アクションプラン(2022年7月)に基づき、事業を展開します。

### ① 航空宇宙産業の振興

- ・航空機部品等の多工程一貫生産を可能とする航空機部品クラスターの形成・増強
- ・九州域内企業の航空宇宙産業参入支援ならびに販路拡大支援

### ② 宇宙技術の地域振興への活用

- ・衛星データ活用による地域課題解決を促進する产学研官プロジェクトの推進
- ・九州域内施設を活用した宇宙技術開発、試験製造、打ち上げ、利用ビジネスのフィールド構築のための環境整備に向けた研究活動、国・関係団体への要望活動

### ③ 航空宇宙人材の育成

- ・種子島ロケットコンテストの開催による若手人材への宇宙開発の普及啓発

## 九州経済国際化推進機構（会長：九経連会長、事務局：九州経済産業局、九経連・総務国際部）

九州企業の海外進出や海外から九州への投資促進など九州経済のグローバル化に向け、九州経済産業局、九州各県・政令市、企業等との連携を図り、海外との交流事業を実施します。

- ① 環黄海経済・技術交流会議(九州・中国・韓国の政府、企業、経済団体が参加する3カ国会議)の開催による環黄海圏の経済交流の深化
- ② タイ投資委員会とのMOUに基づく経済交流ミッションの派遣および受け入れ
- ③ ベトナム計画投資省とのMOUに基づく経済交流ミッションの派遣および受け入れ
- ④ その他アジア各国・地域とのMOUなどに基づくセミナーの開催や交流事業の実施
- ⑤ 九州産本格焼酎等の認知度向上と販路拡大に向けたセミナーや意見交換会、商談会、Kura Master審査員やトップソムリエのフランスからの招聘事業(蔵元視察)などの実施
- ⑥ 地域商社プラットフォーム「九州の食輸出協議会」と協働・連携した新たな販路の開拓や九州の生産者支援など九州産食品の海外販路開拓の取り組み

## 九州大学学術研究都市推進協議会（会長：九経連会長、事務局：(公財)九州大学学術研究都市推進機構）

九州大学学術研究都市構想の総仕上げに向けて产学研官民がより一層連携し、新たなフェーズを迎える学術研究都市づくりを推進します。

- ① 知の交流・創造活動によるイノベーション・エコシステムの構築
- ② 快適で質の高いライフスタイルを実現する環境整備
- ③ 世界・アジアとの交流(ネットワーク構築)
- ④ 九州大学学術研究都市のシティプロモーション

## 九州IR推進協議会（会長：九経連会長、事務局：長崎県、九経連・地域共創部）

「オール九州」「官民連携」による、九州・長崎IRの早期開業に向けた取り組みへの協力を実施します。(以下は区域認定後に実施予定)

- ① (機運醸成を図るため)セミナー等開催
- ② IR事業者の地元調達方針等に関する協議
- ③ 送客施設と各関係団体との連携体制協議

## 九州の食輸出協議会 (会長：弓場秋信・弓場貿易株社長、事務局：九経連・地域共創部)

九州の生産者・食品製造業者等と九州に拠点を置く商社との連携や海外需要開拓に向けた協働を後押しし、九州の農林水産物および食品等の輸出拡大を目指します。

- ① 海外への販路拡大
- ② 生産者等と地域商社との円滑な情報共有のためのプラットフォーム整備
- ③ 生産者等に対する輸出相談窓口
- ④ 生産者等に対する地域商社の紹介および地域商社に対する生産者等の紹介
- ⑤ 対象国への輸出拡大を目的とした国内外の展示会への出展
- ⑥ 会員間の連携や会員と生産者との連携による新商品開発・輸送・販売等の共同事業

## 九州国際医療機構 (代表理事：中村雅史・九州大学病院長、事務局：九経連・地域共創部)

外国人患者に関して地域の医療機関が抱える課題の解消と地域経済の活性化を同時に推進するため、医療の分野での国際交流を九州の医療界と産学官が連携・推進することで、健康・医療水準の向上ならびに経済発展に貢献します。

## 知的財産権研究会 (事務局：九経連・産業振興部)

九州の産学官が一体となって知的財産権法をはじめとするさまざまな経済法の現状と課題について検討するため、毎月1回研究会を開催しています。

## 九州DX推進コンソーシアム (共同代表：九州大学総長、九経連会長、事務局：デロイトトーマツグループ、九経連・産業振興部)

九州域内の産学官金が一体となって、地域におけるデジタル人材の育成や、デジタル技術の活用による地域課題の解決と新たな産業の創造を推進し、持続可能な地域社会と経済発展の実現を目指します。

※ 幹事会：九州大学、福岡県、デロイトトーマツグループ、九経連

## 九州・沖縄文化力推進会議 (事務局：福岡県、九経連・地域共創部)

九州・沖縄・山口各地域における文化活動の推進と文化の発信による地域活性化に官民が連携して文化プログラムを実施します。国内外から訪れる観光客に対し、九州・沖縄・山口の各種文化をPRしていくとともにエリア内の周遊を促します。

- ① 各大規模国際スポーツイベントと連携した九州・沖縄・山口の各種文化の魅力発信
- ② 「ミュージアム周遊パス」の作成および活用(国内外観光客のエリア内周遊促進)
- ③ 各県が連携した伝統文化の情報発信や小中学校の修学旅行等における各県文化施設の活用促進

## 九州エネルギー問題懇話会 (委員長：杉田浩二・九経連副会長)

エネルギー問題や地球環境問題について、情報や知識の交流を行い、多くの方々に身近な問題として考えていただくことを目的に、講演会や見学会などの諸活動を行っています。

## (一社)九州観光機構 (会長：唐池恒二・九経連副会長)

観光産業を九州の基幹産業と位置付け、さらに観光が九州経済および地域の持続的な発展を牽引すべく、「『住んでよし、訪れてよし、働いてよし』の九州を実現する」をテーマに掲げ、九州一体となつて取り組みを展開していきます。

## 各種高規格道路整備(建設)

1. 島原・天草・長島架橋構想及び九州西岸軸構想推進地方大会  
(島原・天草・長島架橋建設促進協議会、九経連共催)
2. 九州中央自動車道建設促進地方大会  
(九州中央自動車道建設促進協議会、九州中央自動車道建設促進期成会(熊本県)、九州中央自動車道建設促進期成会(宮崎県)共催)

# 広報活動

本会では、会員をはじめ関係諸機関などに本会の活動や意見要望、調査結果などを広く伝えてています。

## ●九経連四季報

創立時より発行を続けてきた月報「あすの九州・山口」は、2023年度より「九経連四季報」(年4回発行)にリニューアルしました。事業テーマ別に九経連の取り組みを詳しくご紹介、また地域の情報や事業に役立つ情報等を掲載し、会員および関係方面にお届けしています。

**発行月** 4月(春号)・7月(夏号)・10月(秋号)・1月(冬号)



### 主な掲載項目

- ・卷頭言・特集(テーマ別九経連取り組み紹介)・会員紹介
- ・地域だより(各県の情報)

## ●ホームページ <https://www.kyukeiren.or.jp>

2023年度よりリニューアルし、新着情報をメールでお伝えするサービスを導入、スマートフォンでも見やすいレイアウトに変更しました。

各種会合のご案内、活動報告等をタイムリーに発信しています。



### 主な掲載項目

- ・九経連について
- ・活動報告(総会・役員会、各委員会、主要機関・団体との連携)
- ・トピックス(会長コメント、プレスリリース、会合のご案内)

# 本会要望・意見等

## 【2022年度実績】

	実施時期
・フードアイランド九州推進宣言(九州地域戦略会議)	2022年 6月
・国の施策に関する要望～九州・山口地域における農林水産業の振興に向けて～	2022年 6月
・東九州地域の活性化推進に関する要望(東九州軸推進機構)	2022年 8月
・誰もが輝く九州未来創造宣言(九州地域戦略会議)	2022年 10月
・政府のエネルギー関連政策に関する要望	2022年 11月
・創造と変革による活力に溢れた地域の創生～新たな時代を西日本から切り拓く～(西日本経済協議会)	2022年 11月

# 九経連のあゆみ

1961(昭和36)年

九州・山口経済連合会創立 初代会長 安川第五郎

事務所：福岡市天神橋口町、のちに天神1丁目福岡三和ビルへ移転



初代会長  
安川 第五郎  
(1961-1973)

1962(昭和37)年

観光標語「太陽とみどりのくに九州」選定、S字型国際観光ルート形成を要望

1963(昭和38)年

国立九州芸術工科大学設置期成会発足、社団法人認可、国立九州工業技術試験所設立を要望、  
北部九州水資源開発協議会(北水協)結成

1964(昭和39)年

松くい虫防除を要望

1965(昭和40)年

第1回海外視察団派遣(東南アジア)、西日本経済協議会(西経協)発足、  
筑後川水系開発基本構想策定(北水協)

1966(昭和41)年

「九州・山口水産業の現況と課題」刊行

1967(昭和42)年

草地開発試案・「九州地域における自動車工業立地の可能性」発表

1968(昭和43)年

「九州における高原開発の可能性」「九州地方における労働力移動の状況」刊行、  
新全国総合開発計画策定に対し意見要望、「瓦林構想」(道路開発会社構想)提唱

1969(昭和44)年

九州自然歩道を提唱、「沖縄経済の現状と将来」刊行

1970(昭和45)年

創立10周年記念式典開催、九州自然歩道計画案策定

1971(昭和46)年

「昭和55年の九州経済」発表

1972(昭和47)年

「海洋の多面的利用」刊行

1973(昭和48)年

第2代会長 瓦林潔就任

1974(昭和49)年

「インドネシア農業農村と開発援助」「九州における地熱資源開発」

「九州におけるUターンの動向」刊行、海外技術研修生受け入れ事業支援

1975(昭和50)年

造船不況対策特別委員会発足

1976(昭和51)年

「70年代離島の役割」刊行、第三次全国総合開発計画策定に対し意見要望



第2代会長  
瓦林 潔  
(1973-1985)

1977(昭和52)年

福岡市と海水淡水化共同研究実験、交通委員会国鉄問題研究部会発足

1979(昭和54)年

「200カイリ時代の西日本水産業」刊行

1980(昭和55)年

東シナ海石油開発問題の研究開始、中国研修生受け入れ事業支援

1981(昭和56)年

九州独占禁止法問題懇話会発足

1983(昭和58)年

新特定不況産業安定臨時措置法制定・高度技術工業集積地域開発促進法  
(テクノポリス法)の早期制定と地域指定・広域大規模総合開発施設設計画調査  
(九水協構想推進)実施を要望

1984(昭和59)年

九州観光開発に関する共通課題試案発表、国際協力事業団国際研修センターの  
九州設置ならびに集團研修コースの拡充強化を要望

## 1985(昭和60)年

第3代会長 永倉三郎就任、「国際化時代における九州農業のあり方」刊行、  
第1回九州地方知事会との意見交換会開催、第1回「九州はひとつ」開発推進大会  
要望、九州地方知事会と共同で九州地方開発に関する重点要望実施



第3代会長  
永倉 三郎  
(1985-1989)

## 1986(昭和61)年

九州観光開発会議発足、四全総策定に関し意見要望、「北九州・関門広域経済圏の活性化」「九州・山口地域におけるデータベース振興」について提言、中国国際人材交流協会との人材交流に関する協力協議書調印、雇用問題特別委員会発足、  
第1回地域づくり青年交流九州アセアン会議開催

## 1988(昭和63)年

九州新幹線建設推進研究会発足、九州国会議員の会・九州地方知事会との第1回懇談会・要望

## 1989(平成元)年

第4代会長 川合辰雄就任、「九州開発の基本方向と課題」刊行、国と地方の  
関係等の改革に関する見解・21世紀に向けた九州・山口地域の情報通信基盤の  
整備・日本電信電話の在り方に関する見解・博多湾の特定重要港湾の指定を要望



第4代会長  
川合 辰雄  
(1989-1997)

## 1990(平成2)年

九州大学における「航空宇宙工学科」新設・公共投資基本計画における事業の  
九州地方への傾斜配分・中小企業大学校南九州ブロック校早期建設を要望

## 1991(平成3)年

創立30周年記念式典開催、「東九州軸推進機構」設立、第1回九州・中国産業技術協議会開催

## 1992(平成4)年

「北九州・関門地域振興」に関し提言、「九州航空宇宙開発推進協議会」設立、  
「九州国立博物館設置促進財団」設立、ニュースレター「KYUSHU」創刊

## 1994(平成6)年

「九州農業の新しい展開を求めて」提言、九州・山口における国際情報通信サービスの拡充・都市基盤整備等の整備拡充・光ファイバー網の整備を要望、「地方分権の実現に向けた政治的決意を期待する」  
共同要望書を提出

## 1996(平成8)年

「九州・山口地域における海洋開発のあり方に関する調査」実施、  
「規制緩和及び税制改革に関するアンケート調査」実施及び要望



第5代会長  
大野 茂  
(1997-2003)

## 1997(平成9)年

九州国際空港構想に関する意見書を運輸大臣(当時)に提出、  
第5代会長 大野茂就任、「21世紀初頭の九州地域物流ビジョン策定調査」報告

## 1998(平成10)年

「九州大学学術研究都市推進協議会」設立、「2005年関門海峡道路の実現をめざして」  
「九州・山口における防災情報システムの現状と課題」「響灘地域開発における情報  
通信基盤整備の現状と課題」調査報告



## 1999(平成11)年

九州・沖縄サミット協力特別委員会発足

## 2000(平成12)年

「九州・山口地域における電子商取引の現状と課題」調査報告、九州・山口ITS研究会発足

## 2001(平成13)年

「日韓IT光コリドー・プロジェクト」の推進協力・支援に合意、覚書締結、  
第1回「環黄海経済・技術交流会議」開催、「九州経済国際化推進機構」設立



第6代会長  
鎌田 迪貞  
(2003-2009)

## 2002(平成14)年

「21世紀の九州地域戦略～自律的経済圏形成へのシナリオ」策定、  
「九州地域産学官連携推進会議」設立

## 2003(平成15)年

第6代会長 鎌田迪貞就任、「九州地域戦略会議」設立

## 2004(平成16)年

第1回九州地域戦略会議夏季セミナー開催

## 2005(平成17)年

「九州観光推進機構」設立、九州地域戦略会議の中に「道州制検討委員会」を設置

## 2006(平成18)年

「(社)九州経済連合会」へ名称変更、関門連携委員会を中国経済連合会と共同で設置

## 2007(平成19)年

九州地域戦略会議第2次道州制検討委員会・第2次九州観光戦略委員会設置を承認、

「国土形成計画九州圏広域地方計画策定に対する意見」取りまとめ

## 2008(平成20)年

農商工連携セミナーを域内7カ所で開催、沖縄連携フォーラム開催、九州地域戦略会議

「道州制の九州モデルに関する答申」を承認、自動車産業特別部会発足

## 2009(平成21)年

第7代会長 松尾新吾就任、「経済対策に関する緊急要望」「経済危機対策についての緊急要望」を九州の4経済団体合同で実施



第7代会長  
松尾 新吾  
(2009–2013)

## 2010(平成22)年

产学連携懇談会設置、各地域委員会設置、次世代林業サミット開催

## 2011(平成23)年

観光委員会設置、九州地域戦略会議「低炭素社会を目指す九州モデル」を承認、

「東日本大震災への九州の対応に関するアピール」採択

## 2012(平成24)年

電気ビル共創館へ事務所移転、創立50周年記念式典開催、台湾・インドネシア・タイとMOUを締結

## 2013(平成25)年

一般社団法人へ移行、第8代会長 麻生泰就任、ミャンマー・シンガポールとMOUを締結



第8代会長  
麻生 泰  
(2013–2021)

## 2014(平成26)年

インド・上海とMOUを締結

## 2015(平成27)年

九州地域戦略会議「再生可能エネルギーの産業化を目指すアクションプラン」を承認、

「九州創生アクションプラン(JEWELS プラン)」策定、「九州農水産物直販㈱」設立、

マレーシアとMOUを締結



電気ビル共創館

## 2016(平成28)年

「平成28年熊本地震」災害の復旧に関する緊急要望、

「福岡空港等の運営及び地方創生に関する研究会」「IoTビジネス研究会」設置

## 2017(平成29)年

「平成29年7月九州北部豪雨」災害復旧に関する緊急要望、

九州地域戦略会議において「スマート農業の促進」を決議

## 2018(平成30)年

スマート農業促進モデル農場を域内8県で選定、中国山東省・威海市とMOUを締結

## 2019(平成31／令和元)年

「九州国際医療機構」設立、立命館アジア太平洋大学(APU)との連携協定締結、

「祭りアイランド九州」開催、フィリピンとMOUを締結

## 2020(令和2)年

「九州の食輸出協議会」設立、「第2期九州創生アクションプラン(JEWELS+)」策定、

「九州の未来のエネルギーに関する提言」発表、「九経連木造ビル構造標準モデル」発表、

「第一次産業応援クラウドファンディング」実施、「九州プロモーションセンター in ハノイ」

プレオープン



第9代会長  
倉富 純男  
(2021–)

## 2021(令和3)年

創立60周年、「九州将来ビジョン2030」策定、

第9代会長 倉富純男就任、「九州DX推進コンソーシアム」設立

## 2022(令和4)年

「九州ジェンダーギャップ指数」策定、「(一社)ツール・ド・九州」設立、

創立60周年記念式典開催、「『幸せコミュニティ』指標」公表

「九州・沖縄・山口ESG投融資方針」公表、「九州MaaSプロジェクト研究会」設置

## 2023(令和5)年

「九州プロモーションセンター in ハノイ」グランドオープン、

(4つの委員会を統合)地域共創委員会新設、「九州MaaSグランドデザイン」策定

## 九経連 入会のご案内

### 入会手続きと会費について

九州・山口・沖縄地域の均衡ある発展という本会の活動趣旨にご賛同いただける法人および団体であれば、規模・業種は問いません。

- ① **入会手続き** 本会総務国際部にご連絡ください。こちらよりご説明にお伺いいたします。その後、入会申込書(本会所定様式)をご提出いただきます。
- ② **入会金** 5万円(普通会員)
- ③ **年会費** 1口15万円 ※会費期間は4月から翌年の3月までの1年間で、初年度は入会月から3月までの会費を月割でご請求いたします。

九経連では、会員の皆様に下記のサービスを提供いたします。

### (1) 委員会へのご参加

本会では、本会の事業を推進する機関として、分野ごとに5つの委員会を設置しています。会員の皆様は、ご希望の委員会に所属、ご参加いただけます。委員会では、各種課題などに関する講演会や視察、ワーキングなどを通じて、調査研究を行い、会員の皆様のご意見やご希望をもとに、施策の立案、政府・関係機関に対する意見や要望の取りまとめなどを行い、事業の推進に取り組みます。

### (2) 各地域委員会へのご参加

本会では、九州・山口各県に9つの地域委員会を設置しています。各地域の諸課題を調査研究し、九経連全体の活動に反映させることでその実現を図ることを目的としています。各地域(福岡、沖縄を除く)の会員の皆様は、この地域委員会にご参加いただけます。

### (3) 他の経済団体との交流

本会では、経団連の会長、副会長との懇談会(九州経済懇談会)、沖縄の経済団体との懇談会(沖縄連携フォーラム)、西日本地域の6つの経済連合会との協議会(西日本経済協議会)などを開催しています。会員の皆様は、これらにご参加いただけます。

### (4) 情報発信

本会の会合のご案内・活動報告については、ホームページに掲載いたします(メールサービスをご登録いただくことによって、ホームページの新着記事をお知らせします)。その他、本会にて取りまとめた提言や各種関連資料などをお届けいたします。

また、年4回「九経連四季報」を発行し、本会の取り組み等について詳しくご紹介いたします。

### (5) その他

企業経営や地域の活性化に関するご意見やご要望に対応いたします。また、海外進出や輸出についてのご相談にも応じます。本会の活動へのご参加を通じて、多くの会員企業の皆様とのネットワーク、企業連携をつくることもできます。

＜お問い合わせ先＞一般社団法人 九州経済連合会 総務国際部

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号(電気ビル共創館6階)

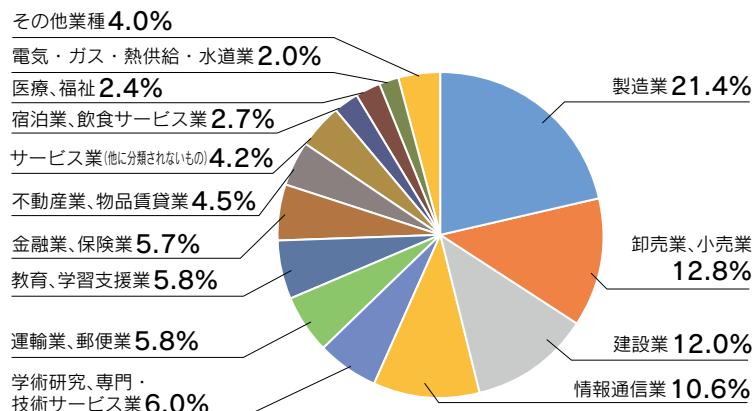
TEL (092)761-4261 FAX (092)724-2102 E-mail info@kyukeiren.or.jp

九経連会員数(2023年6月末)

1,021 法人

さまざまな業種の企業や大学、団体等に  
ご加入いただいています。

会員の業種別割合(2023年6月末時点)





〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号(電気ビル共創館6階)  
TEL(092)761-4261(代表)・FAX(092)724-2102  
URL <https://www.kyukeiren.or.jp>  
E-mail [info@kyukeiren.or.jp](mailto:info@kyukeiren.or.jp)

## 九 経 連 2023

2023年7月発行

発 行 一般社団法人 九州経済連合会  
〒810-0004  
福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号(電気ビル共創館6階)  
TEL(092)761-4261(代表) FAX(092)724-2102  
印 刷 株式会社 西日本高速印刷